



第1472回例会 会報

1988 (昭 63.8.30) 天候 晴

幹 事 若生恒吉
 会長 市川輝雄
 クラブ奉仕 佐藤 昇

ロータリーに活力を—
 あなたの活力を
 PUT LIFE INTO ROTARY—
 YOUR LIFE

職業奉仕 佐藤 衛 社会奉仕 迎田 稔
 国際奉仕 松田士郎 青少年奉仕 碓氷節雄

出席報告：会員 83 名 出席 63 名

出席率 77.14% 前回出席率 77.14%
 修正出席 68% 確定出席率 84.29%

会 長 報 告

市川輝雄君

過ぎてみれば夏の暑さもひとときであります。人人の去った海辺はバカンスのあとの哀愁をただよわせて、昔みた映画のワンカットを思い出させます。

○すでにご覧になった方もあると思いますが、致道博物館で「戊辰戦争と庄内」歴史展がありました。ご存知の様に、戊辰の役で官軍に抵抗した奥羽諸藩の同盟が次々と脱落し、庄内藩だけが最後まで孤軍奮闘した訳ですが、時に利あらず、遂に無条件降伏の止むなきに至りました。幸いに西郷南洲の鶴の一声で穩便の沙汰を蒙り、命脈を保つ事が出来たのですが、その後会津若松へ転封発令、更には磐城平への転封替えと決まりました。しかし、300年の間営々と培ってきた土地を離れ難く、藩内あげての阻止運動となり、70万両という莫大な献金を条件として転封中止となったのであります。その額はのちに30万両に減額したとの事ですが、分割払いにしたか、一括払いにしたかは定かではありません。新政府としては、金はいくらでもほ

しかったでしょうし、正に地獄の沙汰も金次第であります。献金するだけの余裕もなく、もし磐城平へ転封になっていたとしたら、253地区の協議会や大会のためにわざわざ平まで行かず済んだ人もいるかも知れません。すべて宿命であります。

後程、幹事より地区大会参加者を発表致します。

○去る26日、I.G.Fのための第一回打合せ会がありました。あと40日余り、10月9日はすぐであります。スタッフの皆さんご苦労様ですが、よろしくお願い致します。

幹 事 報 告

若生恒吉君

- 元会員の佐藤英明さんより転勤の挨拶到着。
- ポリオプラス日本委員会よりテレフォンカードの発売について
1枚 1,000円
内、300円はポリオへ寄附
- 253地区地区大会の参加の件
出席者 市川輝雄君、若生恒吉君

ロータリアン日記 ○月○日

この六月に私は得度(トクド)を受けた。真宗大谷派の一寺院の次男として生れた私は、いわゆる門前の小僧ならぬ『門内の小僧そこで習った経は少し読め』であった。

大谷派僧侶として帰依三宝(仏・法・僧に帰依する)を誓う儀式が得度式である。退職して時間と心のゆとりが出たところでこれを受けた訳である。受式の際は剃髪がと言うことであり、少々薄くなったオツムだったからか、あまり抵抗はなくそうした。

京都から帰って来て、あらためて気づいた事がある。それは、人が他人を見ると第一に、顔、

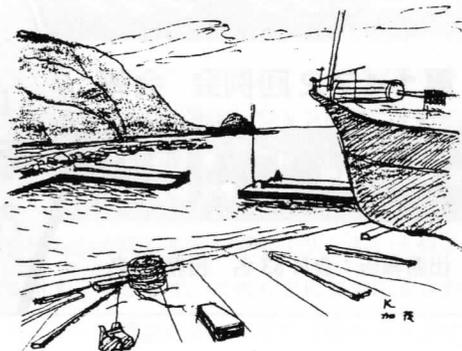
中でもその上部の髪を見ているということだ。

さる用で前の勤務校を訪ねた時のこと、私のすぐ脇で人を探している様子の先生あり。それは、なんと声で私の来訪を知ったが、どこに居のだろうと見渡していたと言うことだった。声はするけど、剃髪の人がまさか? と思って他を探していたという事しかなかった。

そう言えば、○十年ぶりに会った人、特にご婦人の昔のおもかげは、額より下の顔を見ると思い出し易い事は生活の智恵でやってるし、中学・高校生が一番気にし、他人から触られ直されるのを嫌うのも髪だった。

剃髪した人の集まりを後から見ると、年令不詳集団でもあった事を思い出す。 御橋義諦

高橋良士君・同御婦人
佐々木喆彦君・吉野 勲君
高田耕助君・関原亨司君
佐藤 昇君・松沢主一君
藤川享胤君・佐藤元伸君
新穂光一郎君・張 紹淵君
以上 14名



カット 石井敬三君

ゲストスピーチ

庄内米の現状、そして将来展望



只今、御紹介いただきました齋藤です。自己紹介をさせていただきますと私の担当部門は、庄内米の生産部門、つまり「豊かな庄内こめづくり運動」の事務局と、メロン、苺、野菜など園芸特産物の販売、さらに

肥料、農薬、ビニール、ポリなど農業資材の購買事業であります。

今日は、私どもが取り組んでいる「こめづくり」についてお話させて頂く機会を与えていただき、感謝申し上げます。

最初に、庄内農業の概要についてご説明します。

まず、庄内の耕地面積は約4万6千haで、その内水田が4万ha(86%)と、ほぼ水稻が主体であります。また、庄内の地形をみますと、東西の標高差が4mで地下水が高いなど、こめづくりに最適な地帯であるといえます。

農家数は2万2千戸で専業農家が7.8%、第1種兼業農家が35.8%、第2種兼業農家が56.4%で、第2種兼業農家が増加しています。これは全国的にみて専業率は高いとはいえなく、後継者問題とともに庄内の大きな課題であります。

庄内の農業粗生産額ですが、昭和61年度の生産農業所得統計によれば、庄内全体で1千50億円で、内訳をみると米が約730億円、畜産で190億円、園芸

庄内経済連生産部長 齋藤 信 弥 氏

特産物で100億円となっており、地域経済にあたる影響が大と言えましょう。

次に、庄内経済連の戦略と言いましょか、21世紀に向けた長期的な農業・農協の課題を4つに整理していますのでご説明します。

第一に庄内農業は稲作を基幹作物として他作物との複合化を進めながら、「本来的な農の営み、くらしの豊かさとはなにか」を追求することであり。これは、従来の「物・金」中心のくらしを「心：つまりソフト社会」に転換していこうというものです。

二番目としては、農業分野だけではなく、地域社会へ理解をもとめ、自ら地域社会振興の中心的役割を担っていこうと思っています。この考え方はヨーロッパでは一般的な考え方でありまして、「農業協同組合」から「地域協同組合」への質的变化であり、最終的には「協同組合化社会」へ到達する遠大な思想と言えます。

三つ目としては、ちかごろ食管改革論議が盛んでありますが、今後の食糧管理制度の質的变化を想定しながら、庄内米の生産・販売・流通の各分野について検討を加え、厳しい産地間競争に生き抜く戦略を構築することでありまして、その一つの例として後でお話する「庄内型有機米」もあるわけです。

四つ目は、バイオテクノロジーなどの農業新技術を積極的に取り入れて、農業の生産力を高めようということです。現在の農産物の競争のなかで有望な新品種をいかに確保するかが、その産地が生き抜く

キーポイントとなっていることは常識でありますし、特に庄内ではポストササニシキがおおきな課題と言えますでしょう。

中期的な戦略としては、庄内は市町村、あるいは各農協単位に農業振興政策が組まれています。昨今の市場環境などから見ると、産地の規模としては、庄内が一営農団地、つまりひとつの「広域営農団地」と位置づけることが最も重要と考えております。その上に立って他産地にはない個性的な「超一流品農産物づくり」を行って行こうとしています。そのためには、基本としての「土づくり」や農作物をつくる「運動」を展開する、さらに低コストの技術確立も欠かせません。

これらを中心として地域の農業の振興をはかっていきたいと思っています。

前段が長くなりましたが、本題のこめづくりに入りたいと思います。

庄内におけるこめづくり運動は、昭和48年より取り組みました。この間、米の過剰時代や、一転して需給逼迫し輸入問題がでたり色々ありましたが、全体的には過剰基調で、特に昨今では「安全性」「おいしさ」が求められて来ました。

庄内経済連では、米の『食味』についていちはやく3年前から研究をまいりまして、一定のメカニズム、つまり、どうゆう米づくりをすれば、おいしいお米ができるかについて山形県農業試験場庄内

支場のご指導、ご協力を得ながら進めてまいりました。このノウハウが「庄内型有機米」に生かされています。

それでは、「庄内型有機米」についてご説明致します。

この米は、消費者志向に合わせた、庄内米の最高級ブランドと位置づけ、美味しくより安全なお米で将来的にも充分市場性を持てる商品として組み立てました。

そのためには、消費者から信頼を得ることが絶対条件ですから、生産の場面では厳しい栽培基準を作り、この基準を守る生産者から「生産登録」をお願いしましたし、販売においても厳しい制限を設け「まがいもの」を防止しています。

栽培基準は皆さんにお配りした「パンフレット」に書いておりますが、ポイントは、①完熟堆肥による5年以上の土づくり ②化学肥料は慣行の半分 ③除草剤など農薬は慣行の半分以下となっており、食味を重視した基準となっています。さらに栽培途中でこの基準に添わなくなった場合は一般米にすることにしています。現在「庄内型有機米」は15農協で取り組み、生産者数で370戸、面積で450haが栽培されておりますので、今年の秋には皆様のご家庭にお届け出来ると思います。皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

ご静聴ありがとうございました。

委員会報告

世界社会奉仕委員会

山口篤之助 君

ポリオ・プラスの募金につきましては、皆様の御協力を頂き有難うございます。

会報のメンバーズコーナーの9月の掲載予定は、次の方々ですので御協力お願い致します。

石井 敬三 君 . 石川 寿男 君
石黒 慶之助 君 . 富田 直治 君
佐藤 衛 君 . 田中 錦造 君
忠 鉢 徹 君

以上の方々は、原稿と掲載料2,000円を添えて事

務局までよろしくお願い致します。

スマイル

張 紹淵 君 30周年記念行事を祝して2度目のポール・ハリス フェローに献金(133,000円)皆さんの準フェローに御協力をお願いします。

佐々木 喆彦 君 私の出版した本「三尺下って」が週刊ベストセラーに入りましたので(エビスヤ書店調べ)

佐藤 衛 君 市民プールの建設契約をしましたので。

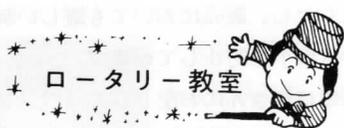
細野 昭三君 初孫の誕生を祝って。
 松沢 主一君 10月の年次大会の宿泊等の御用命
 を頂きましたので。

ビ ジ タ ー

温海 R.C 渡部 晃雄 君
 鶴岡東 R.C 佐藤 憲 君

9月13日のプログラム予定

○クラブフォーラム 青少年奉仕部門



— 情報抄録より抜粋 —

青少年の模範となろう

青少年奉仕プロジェクトは、世界中で、いろいろな方法で行われています。ほんの少し例を挙げるだ

けでも、ロータリーは、ボーイ・スカウトとガール・スカウト隊、スポーツ・チーム、ハンディキャンプ、児童センター、レクリエーション活動、それにももちろん、インターアクトとローターアクトを提唱しています。どの場合も、私たちがどう行動するかは、何をするかと同じくらい重要です。若い人は、年長者を見て、学びます。このことにまさにふさわしいロータリーの標語があります：「各ロータリアンは青少年の模範」。

ロータリー・クイズ

問 次の3人の有名人のうち、ロータリアンは誰ですか：ゲーリェルモー・マルコーニ、無線の発明者；フランツ・レハール、「メリー・ウィドー」の作曲者；トーマス・マン、ノーベル賞受賞作家。
 答 全員がロータリアンです。マルコーニは、イタリアのボローニャ・ロータリークラブ会員で、レハールはオーストリアのウィーン・ロータリークラブ会員、マンは、ドイツのミュンヘン・ロータリークラブ会員です。

MEMBER'S CORNER



電気工事設計・施工

大同電気株式会社

代表取締役 秋野 昭三

鶴岡市上畑町 8-26
 ☎ 0235 (22) 0335・(24) 5094



銀座店 本町一丁目 6-7 ☎22-6240
 日吉店 日吉町 11-46 ☎22-2892
 馬場町店 馬場町 1-17 ☎24-4868

10月20日発売 予約受付中

「聞き書 山形の食事」

A 5判/カラー口絵 16頁本文 360頁
 農文協発行 定価 2,800円

内山ふみや書店

鶴岡市本町二丁目 ☎(22) 1060・6511

庄内に生まれ庄内とともに
 私たちは、庄内を大切にします。

山形日産自動車販売株式会社

代表取締役社長 荒井 宏 明



本社/鶴岡市千石町7-41
 ☎(22) 3400(代)

ポリオプラスを成功させよう 世界社会奉仕委員会

ポリオプラス募金にご協力ありがとうございました。